

NPO法人

久喜の自然を愛する会

会報

NO28 2017年6月

会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 ^{いま} 現在 ある自然を次の世代に残そう

★★活動の記録（写真版）★★

★第12回NPO法人久喜の自然を愛する会総会

2017年4月9日(日) 太田集会所



記念撮影



代表挨拶



総会風景



天ぷら作り



食事風景

★キクイモ掘り 2016年12月11日(日)



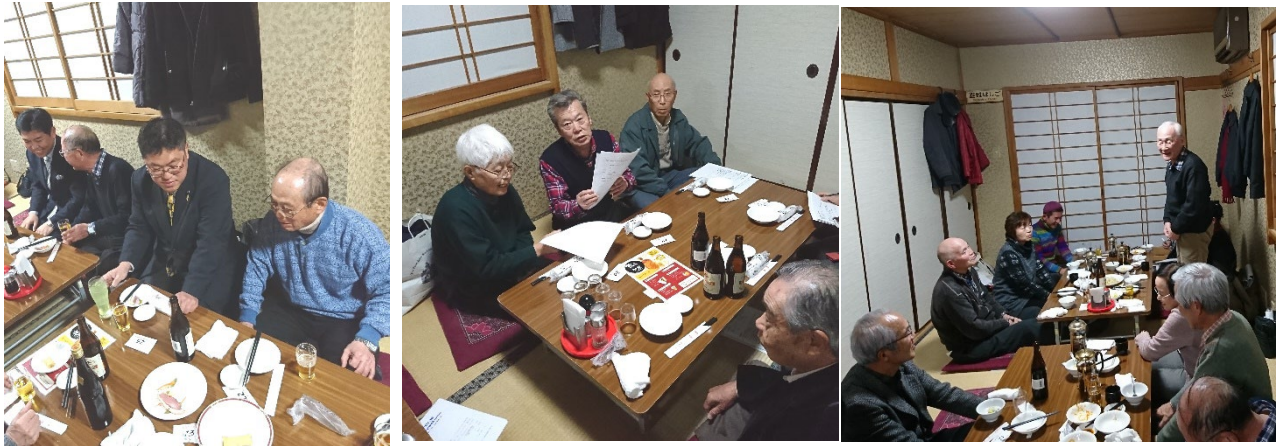
今年の収穫



みんなで掘りました

忘年会 2016年12月17日(土)





★七草粥を食べる会 2017年1月6日(金)



前日の七草採取



七草がゆを作る前の記念撮影



レシピの説明



★第12回久喜市の野草写真展 2017年3月1日(水)～7日(火)



柿沼教育長来場



搬出時の記念撮影

★キクイモ植え付け 2017年3月23日(木)

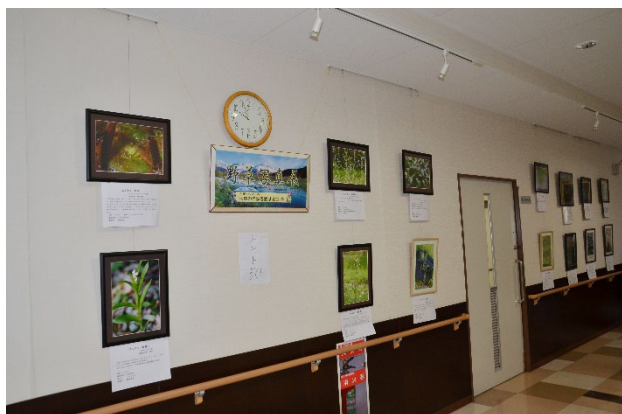


作業風景



記念撮影

★久喜の里野草写真展 2017年3月21日(火)～6月7日(水)



展示風景



搬出時の記念撮影

★ふれあいうオーク「吉羽天神」 2017年4月23日(日)



感想発表



吉羽天満宮付近での観察



ヘビイチゴ



オランダミミナグサ



ヒメオドリコソウ



トウダイグサ



イタドリ

★ふれあいウオーク「なんじゃもんじゃ」 2017年5月4日(日)



ナンジャモンジャノキの前で記念撮影



観察前の説明



カラスムギ



ナガミヒナゲシ



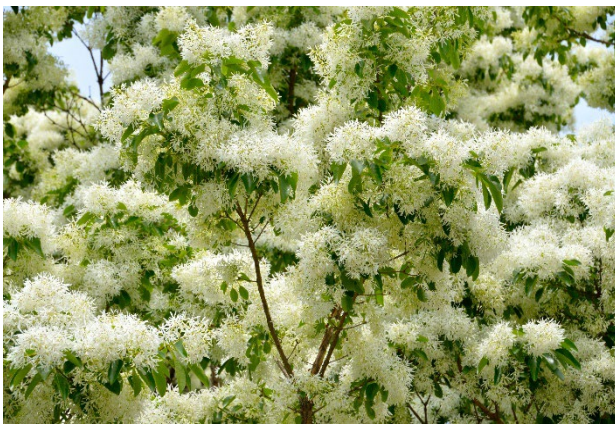
アメリカフウロ



キツネアザミ



ノヂシャ



ナンジャモンジャニキ



ウラシマソウ



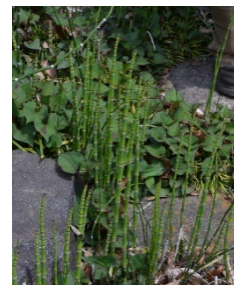
シャガ



カタバミ



オオイヌノフグリ



トクサ

★太田小ビオトープ活動と火曜日自然観察会

2017年5月23日



長須先生の話



ヤゴが獲れました



沢山の児童が参加しました



うごめくヤゴ



ビオトープのミゾコウジュ

★野草保護活動

4月 6名 東側



4月 3名 西側



5月 5名



5月 4名



巻頭言

NPO 法人久喜の自然を愛する会 代表理事 藤浪康義

役員紹介

今回は一般会員からは見えにくい所で地道な役割を果たしている役員の紹介をしたいと思います。

会田克之さん

NPO 法人である本会は一般のリクリエーション団体とは異なる事務を要求されています。そしてその事務をほとんど一人で担当しているのが会田さんです。総会の時に事業報告書や貸借対照表、財産目録等一般会員には馴染みの薄い文書を報告した人です。彼の普段の活動は一般会員の目に触れる事はほとんどありません。

NPO 法人の文書の作成や報告は神経の疲れる大切な仕事です。一枚の文書に一字でも誤りがあれば全部作り直さなければならない。しかも相手は法務局なのでその都度与野まで出向かなければならない。今年から出張所が久喜市役所に出来て大分便利になりましたが、重要文書の場合は全て与野まで届けるのです。

例えば定款の変更にあたる、会費の値上げの場合、総会で承認されたあと法務局の承認を受けないと最終的な決定にはならないのです。

また理事の交代の場合、定められた文書を提出するほかに本人の住民票の提出も必要になります。こういう文書は日付にまで規定があり、規定通りでないとならば再提出を求められます。

こういう細かな仕事を正確に成し遂げているのが会田さんです。

ちなみに今年度総会后に提出した文書は、久喜市に12枚与野に3枚、計15枚でした。

山谷信義さん

山谷さんは「自然観察バス旅行」の担当者として知られています。一昨年は栃木方面、昨年は高尾方面と有意義な楽しい旅を企画運営していただきました。今年も圏央道開通に伴い、つくば方面への旅行が10月26日に予定されています。皆さんにはふるってご参加いただきたいと思います。

ところで山谷さんの本会における本当の役割は監査です。この監査は単なる会計監査ではありません。本会が正しく目的を遂行しているかを見届ける重要な役割です。

今世間では東芝の監査が騒がれており、監査を受けなくて株主総会を開くとかで問題になっています。経営状態が監査に耐えられないからでしょう。

この重要な役割を一人でこなしているのが山谷さんです。

我々理事も、山谷さんに叱咤激励されているような気持ちでそれぞれの任務に励んでいます。

★★活動の記録★★ 2016年末～2017年前半

★年間反省会・忘年会 2016年12月17日 17時～

宮川俊二

28年度の活動を振り返り、反省と共に会員同士の一層の懇親を深める為「反省会・忘年会」を、12

月17日(土)午後5時、久喜駅近くの「中華サイション」で開催いたしました。忙しい中でしたが、藤浪会長はじめ井上名誉会員・梅田名誉会員にも出席願え、総勢24名と多数参加の会となりました。

藤浪会長から、1年の活動に感謝すると共に、この反省会での皆様方の意見を聞かせて頂き、これからの会のより良い活動に反映したいとの挨拶がありスタート致しました。

懇親となり、初観察の「宮代町ふれあいウオーク・新しい村が良かった!」「多摩森林科学園への自然観察バス旅行で、観察した樹木の数々、昼食の『越後のへギソバ』が美味しかった」。バスのタイヤパンクにはハラハラドキドキ、肝を冷やした」等の感想が出されました。又、「観察とともに、野草保護草刈、地域への協力活動(ゆうゆう・ビオトープ)も広がっているが、出来るだけ多くで参加しましょう」との意見もありました。

和気藹々の、あっとゆう間の2時間でしたが、こよなく自然を愛する仲間とのふれあいの楽しさを共にし、来年への希望を膨らませ散会となりました。

★七草粥を食べる会 2017年1月6日 9時～ 太田集会所

宮川俊治

(1) 1月5日(木)前日の七草「ゴギョウ・ハコベ・ナズナ・ホトケノザ・セリ」の採取

新年を迎えた年初一番のはたらきでした。明日開かれる「七草を食する会用」の七草摘みでした。雲一つ無い日本晴れのもとでした。ロヂャース駐車場10時集合でしたが、1番のりは長須先生、2番は藤浪会長さん、その後次々「ニコニコ笑顔」で「おめでとうございます」と12名が集まりました。予め選んでいた場所への移動です、最初は駐車場近くの「ゴギョウ」です、群生でアッ!という間の収穫でした。次いで本多農園さんの駐車場です。「ナズナ」と「ハコベ」、でまるで農家さんが栽培した様な見事な育ちでした、これもアツという間でした。この地は会員の島田ご夫妻の親戚筋との事。次いで「ホトケノザ」です、何時もお世話になっている所久喜(会員の塚原さん実家)の田んぼへ、期待通り「あった!」。最後に「セリ」ですが、アリオ近くの荒地です、生え方がまばらで12人総がかりでの採取でした。この間、約1時間で5品整える事が出来ました。尚、「スズナ」と「スズシロ」はロヂャースで買入し七草を揃えました。

この採取には、より多くの会員に参加して頂き、採取の楽しさを感じて欲しい事。多くの眼で「セリ」の有り場所探しをして欲しいとの望みです。

(2) 1月6日(金)七草がゆを作り食す当日です。

太田集会所で行いました。「NPO法人久喜の自然を愛する会」の主催する行事で、年初一番の行事でした。藤浪会長より、「この会は13回目ですが、今回は今まで一番の参加者、総勢39名(会員26名一般会員13名・男性18名女性21名)です」と熱い挨拶で開始となりました。長須講師からは、「七草がゆの文化や歴史・春の七草の持つ栄養価・本格的な七草がゆの作り方」を学び、皆で一斉に「わいわいがやがや」かゆ作りに取り組みました。9:30~11:30の2時間で出来上がり、皆で和室に移動し「食す会」の始まりでした。

みな「美味しい、美味しい」と食しました。鍋の底が見える位の完食!となりました。初めての参加者の多くからは「本格的な七草がゆは初体験で、大変美味しかった」「本当の七草を知り、本物の七草かゆ作りを学び勉強になった」「生まれた地域では、醤油仕立てのかゆだった」「平安時代の人々と、一緒にの思いで過ごせ楽しかった」等の様々な感想が述べられました。

本会が目指すところの、「自然とのふれあい」「人とのふれあい」を通しての「心豊かな」一日を、互いに感得したように思います。参加者一同、元気な七草にあやかり「無病息災」を念じながら散会とな

りました。

《 関連記事 》

くき市民体育祭特派員レポート 広報くき2017. 3

★久喜市の野草写真展 2016年3月1日～7日中央公民館1F

松本春勇

「第12回久喜市の野草写真展」は、3月1日(火)～3月7日(月)迄、中央公民館1階ロビーにて開催されました。今年のテーマは「外来種」で、総出展数60点(12名)です。内訳は外来種48種、在来種4種、絶滅危惧種8種です。

外来種とは、もともとその地域に生息してなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことで、外来種に対して、従来からその地域で生息・生育するものは在来種と呼ばれます。

外来種のうち、丈夫でよく生育するため、人間の健康や在来種の生態系などに害を及ぼす生物は特定外来生物被害防止法により、特定外来生物と指定されています。特定外来生物は、生きたままの運搬や栽培、譲渡などが原則として禁止されており、違反した個人は3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金が科せられます。今回、オオキンケイギク、ミズヒマワリ、ボタンウキグサ、オオフサモ、アレチウリの写真が出展されました。特に、オオキンケイギクは黄色いきれいな花が咲くため、道端や、住宅街の庭で沢山見る事が出来ます。

身近に見られる野草には、外来種が多く、野草写真を見て、「これも外来種なの！」の声が多く聞かれました。今年は、キクイモの味噌漬けの他に、ドングリを茹でたものを食していただきました。ドングリの殻を割って渡すと、珍しさもあり、ほとんどの方が「美味しいわね」言うておられました。

3月3日、埼玉新聞の取材を受け、翌日「外来種など野草紹介」の見出しで、新聞に掲載されました。田中市長、柿沼教育長が来場され、会員の説明に対して熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

《 関連新聞記事 》

埼玉新聞3月4日

★キクイモ植え付け 2017年3月23日

松本春勇

今、話題のキクイモは血糖値の上昇を防いだり、中性脂肪値を下げたりする働きが期待される植物です。秋に収穫するキクイモがどれくらいの価格になるかと思い、ネットで調べてみました。500g-864円(税込み)、1kg-1200円(税込み)、3kg-3500円(税込み)、5kg-5500円(税込み)、3kg-2400円(税込み)など価格はまちまちでした。秋の収穫が楽しみです。

★久喜の里野草写真展「久喜の里」 2017年3月21日～6月7日

松本春勇

「久喜の里」での野草写真展示は、中央公民館で展示した後に野草写真を特別養護老人ホーム「久喜の里」に移動し、展示するものです。展示は2011年から始まり毎年実施し、入所している方々に楽しんで頂いています。今年は3月21日から6月7日まで60点展示しました。

★NPO法人久喜の自然を愛する会第13回総会と懇親会

2017年4月9日 9時～ 太田集会所

《総会》

総会の出席者数33名、本当にたくさんの会員が集まりました。今年は1階の広い大会議室を借りていたため、椅子席でゆったりと審議することができました。議題に沿って、平成28年度事業報告と会計報告、平成29年度の活動計画と活動予算の提案などが採決されました。また、役員選出は山中百合子さんの退任と嶋田実さんの就任が決まりました。いずれも多数の賛成により可決されました。

質疑の中で、「保護活動への参加をどう増やすか」「活動の多様化」「クイモの事業化」など課題があげられました。引き続き検討を要するものの、すぐにどれも結論が出ないため、理事会に持ち越しとなりました。

《懇親会》

野草の天ぷらとクコの御飯をいただきました。天ぷらの材料は前日に会員6名が中土手で採取したものです。イタドリ・タンポポ・ヨモギ・フキ・ツクシ・ワラビ・カラスノエンドウなどは収穫したクイモとともに天ぷらです。ヤブカンゾウは酢みそ、ノビルは味噌をつけて食べました。クコは茹でて、細かくきざみ、塩と酒を入れて炊いた御飯に混ぜて出来上がりです。天ぷらは3か所で揚げましたが、どこも上手に出来ました。材料を刻んだり、御飯をたいたり、湯を沸かしたり、天ぷらを揚げたり、台所は戦場の様相でしたが、みなさんチームワークがよく、スムーズに料理ができあがりしました。野趣あふれる食事は宮川さんの司会でいっそうの親睦を深めることができました。

会場は広くて良かったのですが、2階から1階に運ぶのは大変という声もありました。歳を重ねるごとに体力を考慮して、活動する必要があります。ただ、消極的にならずに前向きに今年も活動に参加しようと思っています。

★野草観察ふれあいウォーク「吉羽天神」 2017年4月23日

木下悦雄

前日の雨が嘘のように青く晴れ渡った4月23日(日)、今年初めてのふれあいウォークが開催されました。宮代町の総合運動公園に集まったのは30名(会員18名、一般参加12名)。今回の集合時間はちょっと早い午前9時。およそ2時間、強い日差しにもめげず、皆さん、スズメノテッポウで草笛を吹いたり、野草を摘んだり味わったりしながら、吉羽地区を周回し野草観察をしました。その後広場の草地スロープにシートを広げ、木立の陰で12時までミーティング、参加者全員の感想等が発表されました。

今回のコースはこれまでも毎年企画されていますが、晩春の息吹を感じさせられるものでした。林縁にはコウゾの花と実、アケビの若芽とおいしそうな若蔓。草地にはヘラオオバコの花が咲き、カラスノエンドウ(烏野豌豆)とスズメノエンドウを比較、黄色の花ではオニタビラコ、オオジシバリ、セイヨウタンポポ、ヘビイチゴなどが目を惹き、ナガミヒナゲシは白い花もありました。ヒメオドリコソウの舞姿も確認しましたね。パンフレットには載っていないノニガナも見ることができました。

野草保護地ではカワラナデシコをはじめ、フジバカマ、ワレモコウが順調に成長し、トラノオやクマツヅラも確認できました。1週間前の保護活動の時には咲いていなかったというツボスミレ(ニョイスミレ)も小さな白い花が群生していました。これも去年の桑や柳の伐採作業の影響と思われます。大きな白い花のスミレも咲いていましたがこちらは園芸種? 隣のクイモの畑も無事芽が出てきていました。

保護地に続く大落古利根川(葛西用水、青毛堀川が合流、さらに中落堀川、備前堀川と合流)の堤には今が旬のイタドリ、スイバが群生し、クサノオウの黄色い花が輝いていました。

行程中、天にはヒバリが囀り、羽立間もないシオカラトンボを見つけたり、わずかな草叢にはキジが

啼き、中落堀川では大きなニシキゴイやカモ、流れにもがくカメなどが観察され生き物の躍動を楽しめました。これから水田に水が入ると、植物も動物もまた違ったものが観察できるでしょう。

《 当日出席者の感想 》

ふれあいウオーク吉羽天神平成 29 年 4 月 23 日感想

記会田

春尾さん ふれあいウオークにたくさん参加しているのでびっくり。毎月 1 回手入れしている保護地で花が出ていないので残念。1 週間で雑草がでている。

木下さん 昨年も天気に恵まれた。今年も期待している。ヘラオオバコの花が咲いているのを初めてみた。スリムな花で感動した。

梅田真由美さん 野草には興味がなかった。食べられる野草があることにびっくりした。

片山さん 蓮田です。東中で長須校長の教え子です。蓮田でも自然の会に参加している。こちらでも参加したい。

小河原さん 住んでいる所はもっと田舎です。クコの葉をとった。今夜のおかずにする。

猪西さん 杉戸で藤浪さんに教わった。草が食べられることに驚いた。又参加したい。

早坂さん 保護活動に来たがツボスミレが咲いてびっくり。ヘラオオバコがきれいでした。

羽賀さん いっぱい野草を頂いてうれしい。

中山さん 初めて参加した。いろいろ食べられることを勉強した。

島田博子さん 今日初めてイタドリを食べた。サラダにして食べたい。トウダイグサがわかってよかった。ノビルを貰った。

原さん ツボスミレ一番小さいスミレと話を聞いた。今日最大の収穫です。

石井さん 七草粥をおいしく頂いた。野草をいろいろ見たがノニガナを見て感動した。

篠原さん 観光ボランティアをしている。今日もいろいろな話を聞いたので観光客相手に活かしていきたい。

嶋田和子さん 名前が覚えられない。平尾さんに聞いている。スズメノヤリを長須先生から教わった。雉が見られたことに感激した。

嶋田実さん カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサを教えてもらった。

柏木さん 昨年広報をみて会員になった。自分の思っている会員になった。クサノオウを見て会長より薬草と思うなと言われた。いろいろ勉強して徐々に覚えていきたい。

宮城さん カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサにびっくり。姫踊子草素敵な名前、花を見て踊りを踊っているのを教わり名前から文化を教わり楽しい。

玉川さん 大体名前が分かるようになった。アメリカキンゴジカ、シャクチリソバ、ベニバナボロギクは菖蒲にしかない。他にあれば教えてほしい。天王山古墳では先生にスイカズラを教わったが違うと言ってしまった。

粉川誠一さん 高校時代牧野富太郎の本を枕にして寝ていた。昔は家にいろんな木を植えていた。幼稚園のコースになっている。この参加で教わった野草を役に立てたい。

粉川和美さん 幸手中の教え子です。植物が好き。先生に教わると犬の散歩も楽しい。

益子さん 楽しいひと時でした。ノビル。むかし多摩川の近くでノビル、ヨモギ、イタドリを取っていました。昔を思い出した楽しかった。

中島さん ウオーキング、野草をひとくりにみていたがこれからは変わると思う。

齊藤さん クコ、ヒナゲシ、ゴギョウなどいい。保護地でワレモコウ、半夏生、オグルマが咲けば見事になるので見てください。中落堀川で亀、雉、小鴨が見えてよかった。

藤浪会長 会は 13 年目に入る。足元の野草が分ってくる。長く続けけることが大事です。

ウオーキングをやる人は野草が分かると楽しい。是非続けてください。教養はきょうようが

あるということ。それがボケない秘訣である。

長須顧問 トンボを持って 今日ヤゴからトンボになったシオカラトンボのメスです。羽化2時間程で抜ける。太陽の光を浴びて羽を乾かす。卵を産んで一生を終える。卵は水の中でヤゴになる。オスはシオカラトンボ、メスはムギワラトンボという。驚東中、幸中の教え子に会えてよかった。

宮川副会長 5500歩いています。運動ができ、ふれあいができ、自然にふれあい、トンボ、雉、アカミミガメ。今日の大収穫はアケビの花です。今日は30名参加、一般は12名、会員は18名です。以上

《 当日の主な野草 》

セイヨウタンポポ・オランダミミナグサ・ノゲシ・ノボロギク・カラスノエンドウ・カントウタンポポ・トウダイグサ・オオジシバリ・オニノゲシ・ヘビイチゴ・スギナ・スズメノエンドウ・ナガバギシギシ・ヒメオドリコソウ・ナズナ・キツネアザミ・オオイヌノフグリ・ヤブカンゾウ・スズメノカタビラ・ヤブニンジン・アカネ・キュウリグサ・ツクシ・トキワハゼ・ヤエムグラ・アメリカフウロ・ホトケノザ・セイヨウタンポポ・ノビル・シロツメクサ・ミゾコウジュ・オオバコ・カニクサ・コイヌガラシ・イタドリ・スイバ・セイヨウタンポポ・オニタビラコ・スカシタゴボウ・ヘビイチゴ

★野草観察ふれあいウォーク「なんじゃもんじゃ幸手」2017年5月4日

齊藤 伸之

4月の吉羽天神に引き続き、今年2回目のふれあいウォークはみどりの日5月4日（木）晴のち曇の凌ぎ易い気候の下、集合場所の幸手市北公民館に一般8名を含む34名が集まり、幸手市内の由緒あるコース説明後、9時半過ぎに出発。ナンジャモンジャとはなんじゃろうと興味津々の下、今回も野草観察を楽しみながら予定コース散策を通して貴重な交流の機会となりました。

先ず観察コースは概略以下の通りです。幸手市内国布間の権現堂桜堤を越え中川堤に出て、長須先生の説明により土手沿いの野草を観察しつつ、国道4号線が通る行幸橋を渡り、幸手市外国布間の左道を行くと、白い花の木が散見され、その先で今回テーマの立派な真っ白い花満開のナンジャモンジャの木のある目的地の町田宅正門に10時25分に到着。

先ず説明を受け、見所一杯の広い庭園を見学し、全員で記念写真を撮った後11時10分出発となりました。帰りは権現堂桜堤を経由して11時35分北公民館に到着しました。この後、館内広間の椅子ソファに座り、参加者全員で生き生きした感想を述べ合い、12時25分解散となりました。

今回のコースはナンジャモンジャを含め初めての観察機会でしたが、まず出発後桜堤に出ると眼下の小川沿いにフジバカマ自生地（幸手自然愛護会の表示あり）があり、現在少ないとの長須先生の説明です。中川堤までには一般に良く見られるカラスノエンドウ、ムラサキサキゴケ、黄色花のノゲシ、イヌムギ、澄んだ青白色のオオイヌノフグリ、桃色のコウゲショウが観察でき、土手に出ると左手前の木枠内に6匹のヒツジがいて餌が欲しい様子でした。土手沿いではカタバミ、カラスムギ、ヤセウツボが沢山、スズメノエンドウ、美味しいヤブガラシ、ノジチャが見られ、行幸橋を渡って左折するとよく見かける橙色のナガミヒナゲシや桃色のアカメガラシ、クコ、ヤエムグラなどを見ることができました。

さて、本題のナンジャモンジャの木ですが、学名はタゴの木に似ていることに由来し、モクセイ科のヒトツバタゴ（一つ葉田子）と称し、絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている希少な木で、原産地は日本（本州中部、対馬）です。花言葉は見事な白い花の塊をさして「清廉」とのことです。

見学した花は、4つに深く裂けた花びらは細く白糸を束ねたようで、木がまるで白い雪に覆われたような見事な姿でした。入手の由来は、ご主人が約40年前に明治神宮外苑管理公園課との係りで地域に広めようとの提言から、苗木を受取り植えたのが始まりのようです。また、木は庭園内に大小約30本

あり、周辺宅にも譲ってきているようです。雌花からの種で増やし、花が咲き始めるまで数年～10年かかるようです。

バラエティある敷地内ではシャガ、ハルジオン、オニタビラコその他、珍しいウラシマソウも見られた。池には蓮の花が3本咲き、クジャクも雌雄2羽ずつ飼っており、また、置かれていた水琴窟で試した皆さんは、竹筒に耳を当て水適音で心が癒されたでしょう。

《 当日の主な野草 》

オオジシバリ・カントウタンポポ・ノゲシ・スズメノカタビラ・オオイヌノフグリ・スズメノエンドウ
・ヤブタビラコ・アメリカフウロ・ヤエムグラ・ナガミヒナゲシ・キュウリグサ・カタバミ・ツメクサ・
ハコベ・ノボロギク・キツネアザミ・タネツケバナ・ナガバギシギシ・カラスノエンドウ・ヒトツバタ
ゴ(ナンジャモンジャノキ)・シャガ・ムベ・ミツバアケビ・アケビ・ウラシマソウ・トクサ・ショカツ
サイ・ヘラオオバコ・スイバ・スズメノエンドウ・オランダミミナグサ・クコ・ノヂシャ
・カラスムギ・アメリカフウロ・ハルジオン

《 関連新聞記事 》

★太田小ビオトープ活動と火曜日自然観察会

2017年5月23日

ビオトープ委員 長谷川雅夫

1. 太田小学校ビオトープが4月新学期にオープンしました。

昨年6月よりの再生活動に、NPO 久喜の自然を愛する会も参加させていただき、井戸水の汲み上げポンプと入口看板の取替え工事が行われて、新1年生入学に合わせて「立入禁止」が解除されました。穂村校長先生の希望による、昼休みの「地域の方とのふれあい」の第一回として、5月23日(火)1時15分～1時50分の昼休み時間(お掃除無し)に、長須先生を講師による「プールのヤゴ観察会」を実施しました。学校の先生・PTA 広報班・コミュニティ協議会・会員の松本さんなどの応援をいただき、児童が網ですくってバケツに入れて観察しました。前日、シオカラトンボが飛んでいたのに、種類は少なかったが、将来のトンボ博士に期待をしています。児童は、約150人ほどが、入れ替り参加しました。翌日、10人位がヤゴを自宅観察に持ち帰りました。来年は当日持ち帰りの予定です。

2. NHKラジオに長須先生から投稿していただきました。

5月24日(水)にNHKラジオ第一毎朝ラジオ7時40分の各地の放送局おたよりコーナーで、埼玉県幸手市長須房次郎さんからの「おたより」として久喜市立太田小学校「ヤゴ観察会」の様子が放送されました。

3. 昨年、岩浪会長が移植した「ミゾコウジュ」が5株程に増えました。

わんぱくな子ども達も、保全活動に協力しています。今年も沢山の移植を会員の皆さんと実施したいと思います。よろしくお願ひ致します。

★野草保護活動 2017年4月から

野草保護活動は東側と西側の2か所で4月から10月まで月の第4日曜日に行われている。

東側は吉羽地域内で、青毛堀と葛西用水が合流して古利根川になったところの右岸にある。対岸には昌平高校がある場所である。近くに吉羽天神があり毎月1回第4日曜日に、ここに集合して付近の野草を観察後に保護活動を行っている。この保護地では付近に生育している、絶滅危惧種等の希少植物を集めてミニ植物園的な形で保護活動を行っている。

西側は久喜菖蒲工業団地裏の中土手で主にヤブカンゾウを中心とした保護活動を行っている。

★新入会員情報 (取扱注意)

笹岡 久子	22-6016
佐竹 淑子	21-7681
青山 淳子	21-5337
相馬 佐穂	090-4849-9131
羽賀 道子	59-1252
中山 照子	58-5505

以上6名が我々の仲間になんく加入されました。よろしくお願ひします。

現在会員数 47名

★今後の日程

放課後子供教室	2017年6月～2018年1月
ふれあいウオーク「鷲宮」	9月10日(日) 9時00分
会員限定バスハイク	10月26日(木) 茨城方面
年間反省会(懇親会)	12月23日(土)
野草保護活動	東側 毎月第4日曜日 8時 吉羽天神集合 西側 毎月第4日曜日 8時 中土手
七草粥の会	2018年1月6日(土)
第12回「久喜市の野草写真展」	2018年3月1日～7日 久喜中央公民館

★編集後記

* 関東甲信地方は6月7日に昨年より2日遅く梅雨入りした。梅雨は太平洋の高気圧とオホーツク海に高気圧が隣り合い、オホーツク高気圧から吹き出す冷たい湿った気流と、太平洋高気圧から吹き出す暖かく湿った気流がぶつかるところに梅雨前線が出来ます。

7月中旬に太平洋高気圧が発達すると、オホーツク高気圧を北に押し上げ、梅雨が明けます。

* 会報28号は宮川と松本が編集しました。今後、皆様へ原稿のお願いしますので、よろしくお願ひ致します。

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO28

2017年6月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇